

2021年度 個人研究実績・成果報告書

2022年 4月 24日

所属	人間社会学部	職名	専任講師	氏名	丸浜 千紘
研究課題	大学生によるピア・サポート活動の効果				
研究キーワード	ピア・サポート キャリア教育 ワーク&ライフバランス	当年度計画に対する達成度	3.概ね順調に研究が進展し、一定の成果を達成したが、一部に遅れ等が発生した		
関連するSDGs項目	3. すべての人に健康と福祉を	5. ジェンダー平等を実現しよう	該当なし	該当なし	
<p>1. 研究成果の概要</p> <p>① 4月に入学してくる新入生は、高校と大学との違いに戸惑い、不適応を引き起こしやすい。そうした1年生同士が他害の悩みや思っていることを共有することは「自分だけではない」という安心感をもたらし、不適応の解消につながりうるが、「安心して自分の悩みを話す」ことは実は簡単ではない。</p> <p>上記を踏まえ、ゼミを主体とした上級学年の学生でピア・サポートグループを作り、先行研究をもとに複数回のピア・サポート活動を実施した。また、新入生がどのような悩みを抱えているのかをアンケートと語りを通して抽出した。</p> <p>② 様々な自治体で、子育て中の母親に対する交流の場が設けられているが、こうしたイベントは平日の日中に行われ、仕事を持つワーキングマザーには参加機会が少ない。ワーキングマザー同士が情緒的なつながりを持ち、気持ちの共有を図ることで子育てへの安心感を得ることができるピア・サポートの可能性を学生とともに検討した。コロナ禍で実際の活動実施には結びつきにくかったが、次年度以降具体的な場の運営を企画していきたい。</p> <p>ピア・サポーターとして他者をサポートする立場につくことで、企画・運営を行う学生にも自己有用感が育まれることが大きな成果と見込まれる。今後、ピア・サポート活動実施前後でのサポーター学生の変化についてもフィードバックをとり、考察していくことが必要である。</p> <p>2. 著書・論文・学会発表等（海外研究機関等の研究者との国際共著論文がある場合は必ず記載） 特記なし</p> <p>3. 主な経費 ・学生研修プログラム業務委託費（資料作成代および講師料） ・学生の事前事後学習必要経費（文房具など）</p> <p>4. その他の特筆すべき事項（表彰、研究資金の受入状況等） 特記なし</p>					
(本文は2ページ以内にまとめること)					